

理事長の頭の中

Chairman of Chitosekai Group
by Hiromasa Hidari

VOL.167. 2020. 6月号

「一人一人の人生を豊かに」

スイッチON!! コロナが収束し始めた良い兆しとして期待しておりますが、新しい生活スタイルにはなかなか違和感が。飲食店に行ったときにマスク忘れて入れてくれなかったり、肉屋のショーケースを眺めていたら並んでくれていたり。なかなかの不都合に新生活様式を脳みそで切り替えねばとおもっています。。コロナを乗り越えねばと。。

さて、6月は大きく組織編成をしております。

僕は、残る会社潰れない会社はなんでのこるのか？

それはまずはトップがベンチャー思考であることは絶対だと思う。現在、僕は42歳。

社会福祉法人の理事長の平均年齢は、70歳前半後半なんだろう。

今まで出会った理事長がだいたいの平均値だし、戦後の設立を考え、歴史的に見ても。

そして、世代交代がまさにこれから始まるんだと。。

少し話がそれますが、

僕は、23歳のときに、大学院を卒業していきなり介護業界に。そして訪問介護から会社を興しました。

もともと建築士になりたくて頑張っていたところ、これからは高齢者が増えるから新築ではなく、

リノベーションとしてのリフォームや減築が主流になると思って、そこに注目していました。

そうすると、高齢者とはどういう環境の暮らしをしているのかということで、

当時、特養にボランティアスタッフとして、働きながら論文を書くことが僕と介護の接点でした。

そんな中、特養で働いていたときの違和感は、トップや幹部が理事長の身内や天下りで固められていて、

中間管理職層やリーダー層が頭打ちになり、蓋をされているとても狭い組織に違和感を感じました。

2万法人以上ある社会福祉法人のほとんどがそんな組織図であり、1法人1施設が80%強もあるこの構図が、次のチャンスを手に入れられないワクワクしない業界になっていると気づきました。

行数が限られていますからざっくり内容に今回は。

株式会社とは違うのは理解しています。社会福祉法人の良さもわかります。

しかし日本全体で見たら社会人とは？それは社会に、組織に、所属する人になります。

その大半は、株式会社が日本の社会人です。

そうならば、

誰のために仕事しているか。そんなのは明確です。顧客のためです。

なぜ会社は存在しているか。そんなのは明確です。理念を達成するためです。

組織が変化するのは、なぜか。理念達成を目指し一日でも一時間でもはやく手に入れ実現するためだから。

そして、千歳会の理念を理解しないとトップの考えは永遠に理解できないばかりでなく、苦しみます。

旧態の社会福祉法人ではなく、チャンスの数はどんどん増やす組織でありたい！

変化に強い組織であり、チャレンジ精神とトライアンドエラーを恐れぬ前のめりな組織に、僕の羅針盤の方角は決めているんです。組織とは。人です。あなたです。ワクワクするためにどう行動するか。楽しみにしています！



フェイスブック始めました。
お友達申請お待ちしております。

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真

